

# 佐賀建設新聞

工法を説明する原裕理事長



ミラクルソル協会(原裕理事長)は24日、有田町仏ノ原の町道尾ノ上下迎原線法面整備工事現場で「FWG・ウッドチップ工法」の現場見学会を開いた。見学会には官公庁職員や建設業者ら約140人が参加、工法の特長や施工状況などの説明を受けた。

## ミラクルソル協会

# 現場見学会を開催

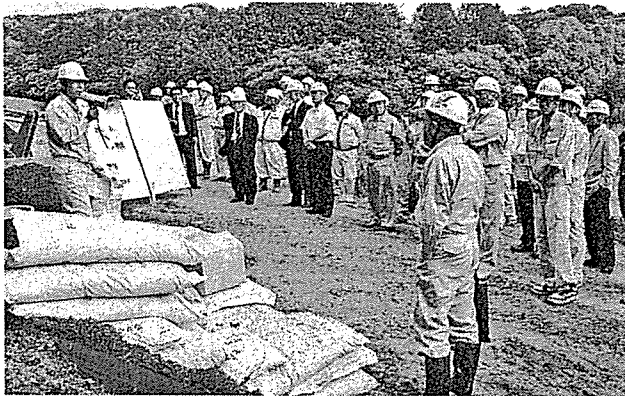
## FWG・ウッドチップ工法

のさまざまな工法を紹介。「毎年かなりの問い合わせがあり、確実に工法の普及が進んでいる。これからも環境に配慮した工法を提案し、環境ビジネスにつなげていきたい」と話した。

同工法は、ガラス廃材を再資源化した「ミラクルソル」と現地で発生する伐採材をチップ化した生育基盤材を吹き付ける工法。ミラクルソルを混合することで、植生基盤材内に間隙を保持できるため、植物の生育を助長することができる。

町道尾ノ上下迎原線の法面整備工事では、約2500平方メートルの法面を対象に約5センチの厚みで生育基盤材(チップ約7割、ミラクルソルを混合した保水材約3割)を施工。日本建設技術協

施工現場で田中課長から工法の説明を受ける参加者



建設事業部の田中和久課長は「ミラクルソルや間伐材など、材料を再利用するのがこの工法のメリット」と説明した。